武道授業 実践の概要紹介 剣道

宮崎県高千穂町における中学校武道必修化に向けた取組

高千穂町教育委員会

高千穂町は、宮崎県の北端部で九州の中央に位置しており、町域の北西部から北部にかけては熊本県に接し、北部から北東部にかけては祖母山を挟んで大分県に接する場所にある。平成24年から宮崎県は、「古事記編さん1300年～神話のふるさと　みやざき～」として活動をしている。そのなかでも、高千穂町は「神話のふるさと」として、高千穂峡、高千穂神社や天安河原などのパワースポットがあり、県内外からの観光客が多数訪れるところである。また、毎年11月中旬から翌年2月まで各集落で奉納されている国指定重要無形民俗文化財「高千穂の夜神楽」には、県内外だけでなく海外からの観光客も訪れている。

高千穂峡

1 はじめに

町内にある県立高千穂高校が剣道の全国大会で優勝を飾っていることもあり、町民の武道、特に剣道に対する想いには熱いものがある。

高千穂町には小学校5校（児童数約670人）、中学校4校（生徒数約320人）がある。中学校4校の内、3校は剣道、1校は柔道を武道の授業に取り入れている。

ほとんどの学校が中・小規模の学校であり、教員の数も少なく、中学校の武道の授業に関しては、必ずしも有段者がいるわけではない。そこで、地域と連携した指導の工夫を行っている。

今回は、剣道の授業を例にとり、地域人材の活用や地域の高校との中高連携の実際について、紹介する。

町武道館の正面には剣士の像

2 地域人材を活用した授業の実践（高千穂町立上野中学校の実践）

(1)武道指導者等派遣事業を活用した地域の指導協力者の派遣について

宮崎県教育委員会が行う武道指導者等派遣事業（中学校の武道及びダンスの体育授業で実技指導の補助を行うために、県が武道関係者等を計画的に派遣することで、中学校保健体育教員の資質の向上及び学習内容の定着を図る）を活用し、地域人材を指導協力者として学校に派遣し、「剣道」の授業を行っている。

(2)指導形態について

・全13時間の計画において、主に7時間は指導協力者から「基本動作や基本となる技」や「武道の伝統的な考え方や行動の仕方」について指導していただいている。

・防具の着装等を含む準備や片付けを考慮し、最初の1時間を除いては、2時間連続の100分授業で行った。

・指導協力者と一緒に行う授業は、1～3年生の合同授業とし、保健体育科教諭のみの授業は、単学年で実施した。

町内のトンネルにも剣道の壁画

（３）　指導計画について

週	指導者	対象学年	指導内容	
第１週	保体科教諭 指導協力者	全学年	○　オリエンテーション ・　剣道の特性や成り立ち ・　伝統的な考え方、行動の仕方 ・　剣道具の着装等 ○　基本動作 ・　礼法、構え、体さばき	
第２週	保体科教諭	各学年	〔１・２年生〕 ○　基本動作 ・　基本打突の仕方と受け方	〔３年生〕 ○　基本動作 ・　基本打突の仕方と受け方 ○　基本となる技 ・　しかけ技、応じ技の振り返り
第３週	保体科教諭 指導協力者	全学年	○　基本動作 ○　基本となる技 ・　しかけ技（二段の技） ・　応じ技（抜き技） ○　ごく簡単な試合 ・　基本動作、基本となる技を使ってのごく簡単な試合	
第４週	保体科教諭	各学年	〔１・２年生〕 ○　基本となる技 ・　しかけ技（二段の技） ・　応じ技（抜き技） ○　かかり練習 ○　ごく簡単な試合	〔３年生〕 ○　基本となる技 ・　しかけ技（二段の技）（引き技）（出ばな技）（払い技） ・　応じ技（抜き技）（すり上げ技） ○　かかり練習 ○　自由練習 ○　ごく簡単な試合
第５週	保体科教諭 指導協力者	全学年	○　基本となる技 ・　しかけ技（二段の技）（引き技） ・　応じ技（抜き技） ○　かかり練習 ○　ごく簡単な試合	
第６週	保体科教諭	各学年	〔１・２年生〕 ○　かかり練習 ○　ごく簡単な試合	〔３年生〕 ○　かかり練習 ○　自由練習 ○　簡単な試合
第７週	保体科教諭 指導協力者	全学年	○　かかり練習 ○　簡単な試合	

（４）剣道の授業の様子

指導協力者（中央）による
防具の着装確認

２・３年生が１年生の
防具の着装確認

中段の構え確認

指導協力者（中央上）
による竹刀操作

保健体育科教諭（中央）
による個別指導

指導協力者による
中段の構えから体さばき

剣道部との練習

風船を用いた
基本打突（面）の練習

防具を着けた３年生と
下級生のかかり練習

ごく簡単な試合（１年生）

ごく簡単な試合（２年生）

簡単な試合（３年生）

3　地元の高校との連携を図った部活動の成果を生かした授業の実践（高千穂町立高千穂中学校の実践）

⑴ 高千穂高校との合同練習

高千穂中学校剣道部は、地元の剣道の強豪校である高千穂高校と毎週水曜日、合同練習を行っている。そこで高校生の技を実際に見て、一緒に練習することにより着実に技能の向上につながっている。また全国の頂点を目指し、懸命に努力している高校生の後ろ姿から、多くのことを学ぶことができている。

合同練習で力を着けた剣道部員が、実際の授業の中で、模範となり、剣道部以外の生徒にアドバイスや基本的な指導を行うことで、学校全体の技能の向上につながっている。

毎週　定期的に合同練習

地元の小学生も参加

（２）高千穂中学校における授業実践例（１年生の例）

【単元の指導計画と評価計画】

段階	活動内容及び活動	指導上の留意点	評価規準 関意態	思判	技能	知理
はじめ	1　オリエンテーション ・　意識調査 ・　礼法の仕方 ・　竹刀の名称、使い方 ・　構え方	・　運動の特性に触れさせ、剣道について関心を高めさせる。	① ③			
	ねらい１　剣道における基本動作をしっかりと身につけることができるようにする 2　構え方、足さばきを行う。 ・全体で行う。 ・グループで行う。 〈活動例〉 構え刀、下げ刀 前・前、後・後		①		①	
	発表会を行う。 3　素振りを行う。 ・全体で行う。 ・グループで行う。 〈活動例〉 正面素振り 発表会を行う。		②	①		
	ねらい２　ひとつひとつの技を正確に打つことができるようになる。 4　面打ちを行う。 ・全体で行う。 ・グループで行う。 （活動例） 元立ちの構えた竹刀に面を打つ 発表会を行う。		②	①		
なか	5　小手打ち、小手面打ちを行う。 ・全体で行う。 ・グループで行う。 （活動例） 元立ちの構えた竹刀に小手面を打つ 発表会を行う。		②	①		
	6　胴打ちを行う。 ・グループで行う。 （活動例） 元立ちの胴を打つ 発表会を行う。		②	①		
	7　面打ち、小手打ち、胴打ちを行う。 ・グループで行う。 （活動例） 元立ちの面、小手、胴を打つ 発表会を行う。				②	①
まとめ	8　意識調査を行う。 今後の取り組みについて話を行う。	・　今後の取り組みについて話をする。				①

意図的に剣道部員を配置した小グループを作り、グループ活動を多く取り入れていくことで、剣道部員の技能を効果的に生かし、他の生徒の技量の向上が図れる。

なお、単元の評価規準については、以下の通りである。

【単元の評価規準】

	運動への関心・意欲・態度	運動への思考・判断	運動の技能	運動についての知識・理解
単元の評価規準	剣道の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるように進んで取り組もうとする。また、伝統的な行動の仕方に留意して、互いに相手を尊重し、練習ができるようにする。さらに、禁じ技を用いないなど安全に留意して練習しようとする。	自己の能力に適した技を習得するための練習の仕方を工夫している。	剣道の特性に応じた技能を身につけ、相手の動きに対応した技を展開して練習できる。	剣道の特性や学び方、技術の系統性・構造、合理的な練習の仕方を理解できる。
具体の評価規準	① 進んで練習に取り組み、剣道の楽しさを深めようとする。 ② 自分の能力に応じた練習で互いに協力して取り組もうとする。 ③ 禁じ技を用いないなど、安全を確認しようとする。	① 自己の能力に適した技を習得するために練習の仕方を工夫している。	① 足さばきができる。 ② 相手の動きに対応した技を展開することができる。	① 技を習得するための練習の仕方について理解することができる。

4 おわりに

平成24年度より必修となった中学校体育の武道及びダンスの授業において、必ずしも指導経験が豊富な教員ばかりではない。そのため、宮崎県が実施している「武道指導者等派遣事業」による地域人材の活用は、授業の充実のために保健体育科教員にとっても生徒にとっても有効な事業である。

また、地元高校との連携による合同練習では、高いレベルの技術に接することで自らの技術の向上を図れるばかりでなく、全国を目指すその姿に学ぶべきものは多いと考える。

少子化が続く本町ではあるが、今後も地域との連携を深め、地域の様々な教育力を学校に取り込むことにより、武道を含む学校教育の充実を図っていきたい。

天安河原

高千穂の夜神楽

日本武道館発行 単行本一覧

なぎなたに夢を馳せて　長濱　文子　著　四六判上製・354頁・2,400円＋税
柔道　その歴史と技法　藤堂　良明　著　四六判上製・330頁・2,400円＋税
脳を活性化する 武道とセロトニン　有田　秀穂　著　A5判・346頁・1,600円＋税
弓道　その歴史と技法　松尾　牧則　著　四六判上製・484頁・2,400円＋税
役に立つ少年柔道指導法　向井　幹博　著　DVD付き・A5判・414頁・2,400円＋税
高め合う剣道　佐藤　成明　著　四六判上製・564頁・2,400円＋税
平法　天真正伝香取神道流　大竹　利典　著　四六判上製・296頁・2,400円＋税
女子柔道の歴史と課題　山口　香　著　四六判上製・412頁・2,400円＋税
唐手から空手へ　金城　裕　著　四六判上製・454頁・2,400円＋税
刀剣の歴史と思想　酒井　利信　著　四六判上製・346頁・2,400円＋税
マンガ・武道のすすめ　田代しんたろう　著　B5判・236頁・1,000円＋税
藩校・私塾の思想と教育　沖田　行司　著　四六判上製・374頁・2,400円＋税
柔道の国際化　村田　直樹　著　四六判上製・552頁・2,400円＋税
武道の礼法　小笠原清忠　著　四六判上製・278頁・2,400円＋税
日本の元徳　菅野　覚明　著　四六判上製・334頁・2,400円＋税
禅の思想と剣術　佐藤錬太郎　著　四六判上製・386頁・2,400円＋税
武道における身体と心　前林　清和　著　四六判上製・370頁・2,400円＋税
贈る言葉 なぎなた範士からのメッセージ　月刊「武道」編集部　編　四六判上製・366頁・2,400円＋税
柔道はすばらしい　腹巻　宏一　著　四六判上製・310頁・2,400円＋税
今、なぜ武道か　中村　民雄　著　四六判上製・370頁・2,400円＋税
日本の武道　日本武道館　編　B5判上製・箱入・526頁・4,000円＋税
人を育てる剣道　角　正武　著　四六判上製・268頁・2,400円＋税
日本の心―塩川正十郎対談集　月刊「武道」編集部　編　四六判上製・346頁・1,800円＋税
武士道に学ぶ　菅野　覚明　著　四六判上製・344頁・2,400円＋税
霊箭　阿波研造物語　馬見塚昭久　著　四六判上製・320頁・2,400円＋税
大先輩に聞く　田谷　将俊　著　四六判上製・376頁・2,000円＋税
武道　過去・現在・未来　田中　守　著　四六判上製・274頁・2,400円＋税
私も武道経験者です　吉野　喜信　著　四六判上製・326頁・2,000円＋税
剣の清流　堀籠　敬藏　著　四六判上製・344頁・2,400円＋税
武道・スポーツの真髄　辻　秀一　著　四六判上製・248頁・2,000円＋税
可能性の種子たち　作山　吉永　著　四六判上製・338頁・2,000円＋税
兵法家伝書に学ぶ　加藤　純一　著　四六判上製・344頁・2,400円＋税
私の歩んだなぎなたの道　徳永千代子　著　四六判上製・252頁・2,400円＋税
弓道　その魅力　岡村豊太郎　著　四六判上製・272頁・2,400円＋税
剣道で学び得たもの　林　邦夫　著　四六判上製・298頁・2,400円＋税
我が空手人生　金澤　弘和　著　四六判上製・372頁・2,400円＋税
武道伝書を読む　湯浅　晃　著　四六判上製・348頁・2,400円＋税
武道　子どもの心をはぐくむ　菅野　純　著　四六判上製・410頁・2,400円＋税
嘉納治五郎師範に学ぶ　村田　直樹　著　四六判上製・292頁・2,400円＋税
日本の古武道　横瀬　知行　著　B5判上製・箱入・462頁・5,000円＋税
武の素描　大保木輝雄　著　四六判上製・220頁・2,000円＋税
剣の道　人の道　岡村　忠典　著　四六判上製・350頁・2,400円＋税

編集・発行　日本武道館
〒102-8321　東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp
お問い合わせ・ご注文は日本武道館出版広報課までどうぞ！
TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158